

赤レンガ残るこの地 古川端で心を癒す

南部藩によって行われた河道変更工事。
その昔この地は北上川の河道だったことから
古川端といわれました。



原敬別邸は現在のホテル東日本と七十七日生ビルの建つ一角にありました。

盛岡市内には原敬ゆかりの場所は数多くありますが、この遺構もそのひとつです。

時代とともに街並みは変わり、ビルが立ち並ぶ現在ですが、いまでも、この場所にひっそりと赤レンガの塀は残っています。

近くには別邸『介寿荘』にあった庭石もあり、そこには『この地はもと古川端と称し当地出身の平民宰相原敬が明治四十二年ここに別邸介寿荘を設け年々帰省して郷党の知友と相語るのをたのしみとした跡地である・・・』と記されています。

本宮にある原敬記念館は、原敬の生家に隣接して立てられており、遺品や資料の他、この地にあった介寿荘の蔵なども保存されています。

